



## 上手な水やり

水やりは季節を問わず「鉢の表面の土が乾いたらたっぷりと株元に」が基本です。鉢底から水が流れ出るまでたっぷり与えます。

### 季節ごとの水やりの目安

春・秋  
1日1回

夏  
朝夕2回

冬  
3~4日に  
1回

花や葉に  
水がかからない  
ように注意!



## 肥料の与え方

肥料入り培養土なら元肥は不要です。肥料や植物の種類によりますが、生育途中は置き肥を1カ月に1回程度、液肥を1週間に1回程度がおすすめ。

### 肥料の3大要素!

#### 窒素

葉や茎を  
成長させる

#### リン酸

開花や結実  
根の成長を  
促す

#### カリ

根や茎を  
丈夫にする



## 花がら摘み

咲き終わっても残っている枯れた花のことを「花がら」といいます。こまめに摘み取ることで次の花が早く咲き、病気やカビの発生の予防に。花びらだけでなく、花茎から摘み取ります。

CUT!

枯れた花はこまめに  
花茎からカット!



きっと役立つ豆知識

## 一年草・二年草・多年草の違い

草花は「一年草」と「二年草」、そして「多年草」に分けられます。これらは、育ち方のサイクルの違いによる分類です。

### 育ち方の違いと特徴

#### ■一年草

まいた種が発芽し、花が咲き、枯れるまでの期間が1年以内である植物。

#### ■二年草

種をまいたあと1年以上たってから開花し、2年以内に枯れる植物。

#### ■多年草

2年以上同じ株から花を咲かせる植物。「宿根草」とも区別される。

違いを活かして  
魅力的な  
空間づくり

